

酒田市 八幡町 松山町 平田町 合併協定調印式

日 時 平成17年2月19日(土)午前10時30分~午前11時25分

会 場 ホテルリッチ酒田

主催者

酒田市長 阿部 寿一 八幡町長 後藤 孝司

松山町長 佐々木藤正 平田町長 加藤 寛英

立会人

酒田市議会議長 阿部與士男 八幡町議会議長 石川 憲雄

松山町議会議長 新館 俊雄 平田町議会議長 小松原 俊

北庄内合併協議会委員

佐藤 弘 長谷川 裕 齊藤 康広 佐藤 忠智 山川 源吉

阿部 清幸 伊藤 一哉 安藤 順子 小野 實 阿部 慶一

小林 隆逸 佐藤さく子 伊藤 善市 小松 隆二 齋藤 緑

来賓

山形県知事代理 庄内総合支庁長 村上 正敏 山形県議会議長 松浦 安雄

山形県議会議員 土田 広志 山形県議会議員 佐藤 藤彌

山形県議会議員 星川 純一 山形県議会議員 森田 廣

山形県議会議員 和嶋 未希

幹事

丸山 至 三柏 憲生 平向與志雄 齋藤 啓一

事務局職員

五十嵐龍一 大滝 太一 永田 斉 後藤 重明 遠藤 裕一

土井 義孝 斎藤 徹 長尾 和浩 松永 隆

合併協定調印式 次第

1 開会

2 経過説明

3 合併協定書調印

酒 田 市 長	阿部 寿一
八 幡 町 長	後藤 孝司
松 山 町 長	佐々木藤正
平 田 町 長	加藤 寛英

4 立会人署名

酒田市議会議長	阿部與士男 様
八幡町議会議長	石川 憲雄 様
松山町議会議長	新館 俊雄 様
平田町議会議長	小松原 俊 様

5 あいさつ

酒 田 市 長	阿部 寿一
八 幡 町 長	後藤 孝司
松 山 町 長	佐々木藤正
平 田 町 長	加藤 寛英

6 立会人あいさつ

酒田市議会議長	阿部與士男 様
八幡町議会議長	石川 憲雄 様
松山町議会議長	新館 俊雄 様
平田町議会議長	小松原 俊 様

7 来賓祝辞

山 形 県 知 事	齋藤 弘 様
山形県議会議長	松浦 安雄 様

8 閉会

開会 午前10時30分

司会（大滝太一） お待たせいたしました。

これより、酒田市・八幡町・松山町・平田町合併協定調印式を開会いたします。

調印式に当たり、大変ご多忙の中、ご来賓の皆様、北庄内合併協議会委員の皆様、1市3町の議会議員の皆様からは、多数ご出席いただき、厚く御礼申し上げます。

私、本日の司会を務めます合併協議会事務局の大滝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、本日ご臨席いただきましたご来賓の方々をご紹介します。

山形県知事、齋藤弘様でございます。本日は公務の都合で、庄内総合支庁長、村上正敏様から代理でご出席いただいております。

山形県議会議員、松浦安雄様でございます。

続きまして、地元選出の県議会議員の皆様です。着席順にご紹介させていただきます。

山形県議会議員 土田広志様でございます。

山形県議会議員 佐藤藤彌様でございます。

山形県議会議員 星川純一様でございます。

山形県議会議員 森田廣様でございます。

山形県議会議員 和嶋未希様でございます。

本日はまことにありがとうございます。

ご来賓の皆様からは、後ほど代表してご祝辞を頂戴いたしたいと存じますので、よろしく願いたします。

経 過 説 明

司会（大滝太一） 続きまして、合併協定調印に至る本日までの経過について、北庄内合併協議会五十嵐事務局長よりご説明申し上げます。

事務局長（五十嵐龍一） それでは、今日までの合併協議に関する経過についてご紹介を申し上げます。お手元の資料をご覧いただきたいと思います。

各自治体におきましては、早くから市町村合併について調査・研究が行われていたのですが、平成14年4月、酒田市・立川町・余目町・遊佐町・八幡町・松山町・平田町

の1市6町長による合併に関する懇談会が持たれたところから、この気運が高まってまいりました。

こうしたことを背景に、同年の8月に、1市6町により任意協議会としての庄内北部地域合併検討協議会が設置され、5回にわたりまして協議が行われております。

ここで、法定協議会の移行に向けて種々検討が重ねられた上で、平成15年2月に、酒田市・遊佐町・八幡町・松山町・平田町の1市4町で構成する庄内北部地域合併協議会が設置され、合併協定項目調整方針の協議が開始されております。平成16年10月まで、協議会が18回、各小委員会が65回開催され、委員の皆様からは幅広い分野にわたり真摯かつ精力的に協議を重ねていただいたところでございます。

なお、この第18回協議会におきまして、遊佐町より離脱の表明がなされました。しかしながら、このことによっても合併の意義、必要性は変わらないという認識のもとで、各議会の議決を経て、昨年11月に現在の1市3町による北庄内合併協議会が設置されました。

そこで、12月の第2回北庄内合併協議会におきまして、すべての合併協定項目の調整方針の協議が整い、本日の調印式に先立ち開催された第3回協議会で改めてこのことが確認され、合併協定調印の運びとなったものでございます。

お手元の合併協定書に、この調整方針の全文が掲載されております。

以上、今日に至るまで、本日ご臨席いただいておりますご来賓の方々を初め構成団体の各議会、並びに住民の皆様のご深いご理解とご支援をいただきまいりましたことを申し添えながら、簡単ではありますが経過説明とさせていただきます。

まことにありがとうございました。

合併協定書調印

立会人署名

司会（大滝太一） それでは、合併協定書の調印と立会人の署名に移ります。

調印は、これまで確認されました合併協議の内容について書面にて協定するもので、1市3町の市長・町長から署名及び公印の押印をしていただきます。その後、1市3町の議会議長の皆様から立会人として署名をいただきます。

なお、協定書は、各市町用4部でございます。会場の皆様には、受付でその写しをお渡ししているかと思っておりますので、ご参照ください。

調印は、酒田市長 阿部寿一、八幡町長 後藤孝司、松山町長 佐々木藤正、平田町長 加藤寛英が行います。

引き続き、調印の立会人として、酒田市議会議長 阿部與士男様、八幡町議会議長 石川憲雄様、松山町議会議長 新館俊雄様、平田町議会議長 小松原俊様からご署名をいただきます。

それでは、市長・町長の方々・各議会議長の皆様は、正面の調印席にお進みください。
ご準備よろしいでしょうか。

それでは、よろしく願いいたします。

〔署名・調印〕

司会（大滝太一） 続きまして、立会人の皆様よりご署名をいただきます。

立会人の皆様は、調印席にお進みください。市長、町長の方々は、一たん後方の席にお座りください。

それでは、よろしく願いいたします。

〔署名〕

司会（大滝太一） ありがとうございます。

本日ここに、酒田市・八幡町・松山町・平田町の合併協定の調印が、各議会議長の立ち会いのもとに滞りなく終了いたしました。

それでは、ここで4人の市長・町長より合併協定書をご披露いただきたいと存じます。

ただいま机といすを移動しますので、そのままお待ちください。

それでは、市長、町長の方々は、合併協定書をお持ちになり、会場の皆様にご披露くださるようお願いいたします。議会議長の皆様方も一緒にお願いいたします。

〔前方に移動・撮影〕

司会（大滝太一） ありがとうございます。

ここで、各議長の皆様からは最初の席にお戻りいただきます。市長、町長の方々はそのままお待ちください。

ここで、4人の市長、町長の方々から合併調印を記念して、かたい握手をお願いいたします。よろしく願いいたします。

〔握手・撮影〕

司会（大滝太一） 皆様、大きな拍手をお願いいたします。

〔拍手〕

司会（大滝太一） ありがとうございます。

それでは、市長、町長の方々は最初の席にお戻りください。

あ い さ つ

司会（大滝太一） 続きまして、酒田市長、八幡町長、松山町長、平田町長より、それぞれごあいさつを申し上げます。

初めに、酒田市長、阿部寿一からごあいさつを申し上げます。

酒田市長（阿部寿一） ただいま1市3町によりまして、合併協定書に調印をさせていただきました。本日このよき日を迎えられましたのも、きょうお集まりの協議会の委員の皆さんや関係市町の議会議員の皆さん、そして市民、町民の皆さんのご指導、ご鞭撻のたまものであります。心から感謝を申し上げます。

ここに至る道筋は、それぞれやはり地域を愛するがゆえに、必ずしも平坦なものではなかったわけではありますが、ただ地域を愛し、地域をより発展させていこうという思いが、この合併協議の中で徐々に盛り上がってきているというものを感じております。

私たち1市3町であります。そのような住民の皆さんの熱い地域に対する思いにこたえるべく、これからも力を合わせて、よりよいまちづくり、そして五十年、百年の大計を目指したまちづくり、このようなものに向かってまいりたいというふうに思っております。

お集まりの皆様には、引き続きましてご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今日まで賜りました皆様方からのご協力に心から感謝を申し上げまして、一言ごあいさつに代えさせていただきます。

どうもありがとうございました。

司会（大滝太一） ありがとうございます。

続きまして、八幡町長、後藤孝司からごあいさつを申し上げます。

八幡町長（後藤孝司） さまざまな困難を乗り越えてきょうの日を迎えることができました。委員の皆さん、そして1市3町のすべての住民の皆さんに心から感謝を申し上げます。

これから新しい酒田市、新たなスタートを切ることになります。それぞれの地域が持っているすばらしい特徴を大いに生かしながら、新酒田市の発展のためにさらに努力することをお誓い申し上げます。

きょうは本当にありがとうございました。

司会（大滝太一） ありがとうございます。

続きまして、松山町長、佐々木藤正からごあいさつを申し上げます。

松山町長（佐々木藤正） 約2年10か月にわたります合併協議会、きょうが最終というように感無量でございます。この間、委員の皆様を初め各議会の皆さん、各市町民の皆さん、またご来賓の皆様からいろいろなご意見、ご示唆をいただいたというように思っております。

1市3町の合併が今日で終わりということではなくて、これからが新しい市のスタートになるわけでございます。力を合わせまして、よりよい地方行政の発展と、また新しい市をつくっていかねばならないというように心を新たにしていきたいと思います。

皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いしながら、あいさつに代えさせていただきます。

大変ありがとうございます。

司会（大滝太一） ありがとうございます。

続きまして、平田町長、加藤寛英からごあいさつを申し上げます。

平田町長（加藤寛英） 平田町におきましても、合併ということでいろいろ協議なりが始まりまして丸3年になるなという思いをいたしたところであります。やっと今日、合併調印式というところまでまいりました。まずもって、協議会の委員の皆さん、そしてまた事務局等々務められました各市町の職員の皆さん、大変ご苦勞をおかけしたと思っておりますし、また深く深くこの合併にご理解を賜りました議会の皆さん、市民、町民の皆さんに厚く御礼を申し上げたいなという気持ちでいっぱいあります。

いろいろの説明会の中で、私どもいろいろなご質問等を受けてまいりましたけれども、平田町はご案内のように82%が山と山地でございます。したがって、過疎地域ということで、これまで35年にわたりますいろいろな恩恵を受けてまいりました。これまでのようなきめ細かなサービスが本当にできるんだろうかという一抹の不安を持っております町民の皆さんも大変多くございましたけれども、これからは分権社会、そしてまた協働の社会に入るんだと。協働ということは、みんなで助け合うと。そういう時代で、より大きい自治体になれば、みんなの大きな力で助けていただくことができると、そういうようなお話を申し上げてまいったところであります。

新しい時代に突入してまいりまして、個人の魅力、そしてまた地域の魅力等々、いろいろなものを引き出さなければならないというふうに思っておりますし、山であればこそ自然環

境、今大変問題になっておりますけれども、その点につきましてのカバーもできるのではないかと、お互いに共存共栄の時代がまた始まるというふうに思っておるところであります。

今日はそんな意味で新しい時代を開く、まさに扉を開く今日ではなかったのかなというふうに思っておりますが、正念場はこれからではないかと。合併してよかったと言われるような地域になるために、より一層皆さんと一緒に力を合わせて頑張っていかなければならないというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

大変ありがとうございました。

司会（大滝太一） ありがとうございました。

立会人あいさつ

司会（大滝太一） ここで、先ほど立ち会いの労をとっていただきました1市3町の議会議長の皆様からごあいさつをいただきたいと存じます。

初めに、酒田市議会議長、阿部與士男様、お願いいたします。

酒田市議会議長（阿部與士男） 新しい幕開けの合併協定の調印が取り交わされましたこと、心からお祝い申し上げますと同時に、酒田市議会といたしましても、この上ない喜びであります。感無量であります。

この上は、酒田市の3月定例会におきまして十分な議論を経まして、1市3町による枠組みの新生酒田誕生のために、議会議決決定に向けまして全力を傾注することの決意の一端を申し上げましてあいさつといたします。

ありがとうございました。

司会（大滝太一） ありがとうございました。

続きまして、八幡町議会議長、石川憲雄様、お願いいたします。

八幡町議会議長（石川憲雄） きょうは、北庄内の合併協定調印式ということでおめでとうございます。

先ほど立会人ということだったわけですがけれども、ずっと手が震えっ放しでおわびしたいと、そのように思っております。また、私がこのような立場で、このような大きな事業に参加するという、またこれも非常に私自身不思議に思っているところでございます。

先ほど阿部議長からもありましたけれども、もう一つ、議会の議決という仕事が残ってお

ります。その期間ちょっと空くものですから、気を引き締めてまいりたいと、そのように思っております。

皆様大変ご苦労さまでございました。また、ありがとうございました。

司会（大滝太一） ありがとうございました。

続きまして、松山町議会議長、新館俊雄様、お願いいたします。

松山町議会議長（新館俊雄） 合併協定調印式に当たり、松山町議会の皆さんにかわりまして、私から一言あいさつを申し上げさせていただきます。

本日は、先ほど来、緊張の中で1市3町の合併調印がなされました。感動の一場面ではなかったのかなと、そんなふうに感じております。

しかも、この合併の足跡を見ますと、先ほども局長さんから言われましたが、平成14年4月と言われましたし、しかも、合併協議の協議会が始まったのが8月6日と私は記憶しております、検討会でございますが。それからいろいろな山場なりありましたけれども、今日のこの調印の協定を結んでいただいたということは、とりもなおさず1市3町の住民の皆様を初めとする多くの関係する方々の努力の積み重ねではなかったのかなと思いますとき、感無量の気持ちでいっぱいでございます。

合併はすべてよしとは言えませんが、これからよくするための努力も、産みの合併よりも苦しいものもあるかもしれませんが、これらをきちとなし遂げることが、また私どもに与えられた大きな使命だと、そんなことを感じております。

やはり住民の幸せは、利便性と、そして住民サービスの向上だと、これがまず第一歩だと、そんなふうに理解をいたしておりますし、私ども1市3町の中にも、それぞれ誇り得る歴史と文化と、そしてまた教育、産業がございます。それらを元手に一層の1市3町が手を組むことが、必ずや合併してよかったと言われる思いに、あるいはその考えに持っていくのが、先ほど申し上げましたように新しい私どもの使命だと理解をしております。

それぞれの立場で、住民におかれましても、斬新な、しかも想像力に富んだ地域づくりをしなければならぬわけでございますし、またその一番近い立場にいるのが自治体であるわけでございます。そして、議会であり、私ども議員であるはずでございます。これらの責任は非常に重大な重要性を持っておることを私も肝に銘じながら、残された期間ではありますけれども、1市3町の中で精いっぱいの努力をさせていただきたいと考えてところでございます。

結びに、ご来賓の皆様を初めとする各首長の皆様方、そして1市3町の住民の多くの熱意

の中で合併をされたこと、そしてまた合併に関係されました多くの方々に心から敬意と感謝を申し上げるところでございます。そしてまた、ご参会の皆様方のこれからの一層のご協力を賜りますようお願い申し上げまして、一言あいさつに代えさせていただきます。

本日はおめでとうございます。

司会（大滝太一） ありがとうございます。

続きまして、平田町議会議長、小松原俊様、お願いいたします。

平田町議会議長（小松原 俊） 歴史に残る合併協定調印式、まことにおめでとうございます。

私も立会人の一人として署名をさせていただきました。感無量というのが率直な気持ちです。この大事業に当たりたゆまぬ努力をされ、ここまで導いてくれました阿部会長を初め各委員の皆様、本当にご苦労さまでした。

また、いろいろな意見を集約し、調整し、立案をしてくださいました事務局の皆様、本当にありがとうございます。皆様のおかげでこの調印式があったものと感謝申し上げます。

今日が新酒田市のまちづくりのスタートであります。私どもの町の小さな小学校で、このような言葉が言われております。「みんな違う、みんなよし」。これは私ども今まで異なるまちづくりをしてきました。そのような中で相手を認め合う、この大切さを教えた言葉だと思えます。

ひとつ今日のこの日を契機に、新酒田市のまちづくり、そのためにまず私どもが一番必要なこの認め合うということを今後の協議会、まちづくりに活かしていただければ大変ありがたいと思えます。

多くの皆様方から望まれたこの調印式、無事済みました。これからの新酒田市のますますのご発展と、そして住民皆様の末永いご多幸、またこの次世代に各市町のよさを残していけるような認め合いをされるようご祈念申し上げ、あいさつにかえさせていただきます。

本日はまことにおめでとうございます。

司会（大滝太一） 立会人の皆様ありがとうございます。

来 賓 祝 辞

司会（大滝太一） それではここで、本日ご臨席を賜りましたご来賓の方々から代表いたしまして、ご祝辞を頂戴したいと存じます。

最初に、山形県知事、齋藤弘様、お願いいたします。

山形県庄内総合支庁長（村上正敏） 庄内総合支庁長の村上でございます。

市長さん、町長さん、議長さん、それから協議会の委員の皆様、それからお集まりの事務局の方々、すべての方々からのお祝いを申し上げます。

今日都合により、齋藤知事出席できませんので、私が祝辞を預かってまいりました。祝辞を読まさせていただきます。

祝辞。本日、酒田市・八幡町・松山町・平田町の合併協定の調印式を迎えられましたことにつきまして、心からお喜びを申し上げますとともに、これまでの関係各位のご努力に深く敬意を表します。

ご案内のとおり、本格的な地方分権の時代を迎え、市町村の自立性を高め、また地方分権の担い手にふさわしい市町村としての行財政基盤の充実強化を図るため、全国的に市町村合併に向けた取り組みが行われています。

このような中、この地域は日常生活圏や経済圏としてつながりが深く、お互いに協力し合いながら、多彩な文化、学術、公益が息づくまちづくりと人づくりを推進してこられました。また、衛生処理や救急・消防業務等、住民生活に密接にかかわる事務を共同処理するなど、ともに協調しながら広域的な取り組みも行ってきました。

このように行政的な結びつきも強い地域であったことを踏まえ、当地域のさらなる発展のため合併協議に取り組んでこられ、今日に至るまで協議会が21回、小委員会だけでも74回開催されるなど、25の協定項目について協議を重ねられ、このたびの調印式を迎えられました。

新しいまちづくりのマスタープランとも言える新市の建設計画の中に、「恵みを活かす」、「地域を活かす」、「人を活かす」と題しまして、新市の基本方針が示されていますが、新市の発展と住民福祉の向上に対する思いが伝わってまいります。

新市が合併を契機として、市民と行政が協働して地域の魅力を伸ばし、地域特性を磨いて、国内外と交流するまちづくりを進められ、さらに発展されますことをご期待申し上げる次第であります。

県といたしましても、新市の建設計画に掲げられた事業が着実に実行されるとともに、地域の一体性が促進され、魅力と活力に満ちた地域として発展されますよう、合併後の新しいまちづくりにつきまして支援してまいりたいと考えております。

11月1日に予定されている「鳥海山を仰ぎ 人いきいき まち快適 世界と結び 夢か

なえる未来創造都市」の輝かしい誕生をご期待申し上げ、またご参会の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成17年2月19日、山形県知事 齋藤弘

以上、代読でございます。

今日はまことにおめでとうございます。

司会（大滝太一） ありがとうございます。

続きまして、山形県議会を代表して山形県議会議長、松浦安雄様、お願いいたします。

山形県議会議長（松浦安雄） 今日とは地元の県会議員の方々は全員出席でございますが、私、代表いたしまして、一言お祝いの言葉を申し上げさせていただきます。

新しく新酒田市が誕生するわけでございますが、1市3町の皆さん、本当におめでとうございます。この調印につきましての過程は、大変文化も異なることもありましたし、そしてまた地域の関係の方々のいろいろな考え方もあったことだと思いますけれども、皆さん同意されまして調印に結びつけたということは、大きな歴史に残るものだと思っております。

今、三位一体改革が、これが全国的にも大きな話題となり、どうしても避けて通れない事実でございます。その中で、合併をしていこうということが、山形県でも各所でそういう言葉は出ましたけれども、庄内だけが非常にまとまりがいいところでございます。そして、庄内は地域に勝るとも劣らない文化が豊富にあるところでございます。

このたびの2月定例会におきましても、余目町と立川町が合併されまして、今度は庄内の町、庄内町となるのも上程になります。そして、鶴岡市を含む1市4町1村のその新しい鶴岡市のまちづくりも上程になります。その中で大いなるご審議はあると思っておりますけれども、必ず上程は達成されるものだと私は思っております。

そんな意味で、この庄内が大きく飛躍する、そしてこの山形県を代表できるようなまちづくりになるということは、私も庄内出身の一人といたしまして、限りない喜びであるわけでございます。

きょうの合併調印を契機といたしまして、一層この地域の発展、そして庄内の発展になりますことを心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉に代える次第であります。

どうもきょうはおめでとうございます。

司会（大滝太一） ありがとうございます。

ご来賓の皆様、まことにありがとうございました。

以上をもちまして、本日の合併協定調印式の日程は終了いたしました。

本日は、公私ともにお忙しい中、皆様方には、合併協定調印式にご出席いただき、まことにありがとうございました。皆様のご協力をいただきまして、本日の調印式を滞りなくとり行うことができました。

これからも各市町議会における議決、山形県への申請、山形県議会における議決、総務省の告示などを経まして、平成17年11月1日の新酒田市の誕生に向け準備に取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、改めて本日ご出席の皆様から大きな拍手をいただきながら、本日の合併協定調印式を閉じさせていただきたいと思っております。

本日はまことにありがとうございました。

閉会 午前11時25分